

# 今村源 遅れるものの行方

Imamura Hajime: The Whereabouts of the Late

2023年11月3日(金・祝)▶▶▶2024年1月28日(日)

水戸芸術館現代美術ギャラリー エントランスホール

水戸芸術館  
ART TOWER MITO

開場時間 | 10:00-18:00 (入場は17:30まで)

休館日 | 月曜日(ただし、1月8日は開館)

12月27日(水)▶▶▶1月3日(水)、1月9日(火)

12月9日(土)、10日(日)は近隣でG7大臣会合開催のため休館

入場料 | 一般900円、団体(20名以上)700円

高校生以下/70歳以上、障害者手帳などをお持ちの方と  
付き添いの方1名は無料 \*証明書が必要です

● 一年間有効フリーパス「年間パス」2,000円

● 学生とシニアのための特別割引デー「First Friday」

学生証をお持ちの方と65-69歳の方は毎月第1金曜日100円

\*証明書が必要です

主催 | 公益財団法人水戸市芸術振興財団

助成 | 芸術文化振興基金

協力 | 株式会社中川ケミカル

サントリーホールディングス株式会社

企画 | 井関悠(水戸芸術館現代美術センター主任学芸員)

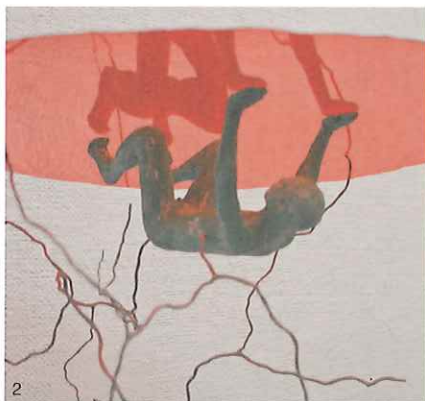
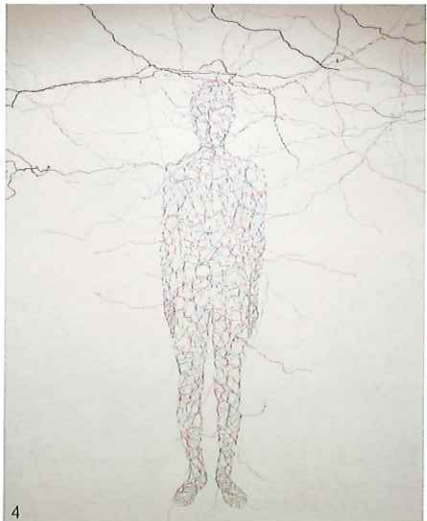
新型コロナウイルス感染症に関するお客さまへのお願い  
状況により内容の変更を余儀なくされる場合があります。

最新情報は当館ウェブサイトでご確認ください。体調がすぐれない方は  
ご来場をお控えください。また、館内では検温/手洗い・手指消毒/大声  
での会話を控えるなどご協力をお願いします。

今村源は、普段、気にも留めないありふれたものに、少しの隙間を加える、あるいは天地を入れ替えたり裏返したりすることで、ユーモラスな造形でありつつも、その軽く透明感のあるイメージから一転、日常と表裏一体にある深遠な世界を観る人に想起させる作風で広く知られています。ボール紙、発泡スチロール、石膏、針金やビニールなど、およそ彫刻らしからぬ軽い素材で、浮遊感溢れる「彫刻」を制作してきた今村の作品の根源には、彼が関心を寄せる森の地下に菌糸を張り巡らし、ときおり地上に姿を顕すキノコの世界があります。人間には見えない世界で、しかし確実に世界と共生し、世界を支えている菌類へと向けられた今村の思索は、私(個)を超えて連綿と続く生命の営みへと広がっていきました。本展は、1980年代前半より京都を拠点に制作活動をスタートさせ、いずれにも寄らない独自の哲学的作風で早くから注目を集めてきた現代美術家・今村源の10年ぶりとなる美術館の個展となります。

### 今村源(いまむら・はじめ)

1957年大阪生まれ、京都在住。81年に京都市立芸術大学美術学部彫刻科を卒業、83年に同大学大学院美術研究科彫刻専攻を修了。関西を中心に活動し、カラーワイヤーを使った平面作品や版画、針金で個々の彫刻がつながり合うインスタレーションなど、日常にあるありふれたものを用いて制作を行う。ユーモラスな形態をとりながら哲学的な作品は、日常と表裏一体にある深遠な世界を見せる。近年の個展に、「流れること/留めること」(ギャラリーノマル、大阪、2021年)、「パラパラパラ」(ARTZONE、京都、2018年)。展覧会に、「疎密考」(和歌山県立近代美術館、2021年)、「TADのベスト版コレクション+あなたならどう見る?」(富山県美術館、2020年)、「起点としての80年代」(金沢21世紀美術館、2018年/高松市美術館、2018年/静岡市美術館、2019年)、「東アジア文化都市2017京都アジア回廊 現代美術展」(元離宮二条城/京都芸術センター、2017年)などがある。第35回中原悌二郎賞優秀賞(2007年)、第28回京都美術文化賞(2015年)を受賞。作品は国立国際美術館、伊丹市立美術館、兵庫県立美術館、和歌山県立近代美術館などに収蔵されている。



11 森ニイマス 宇都宮美術館展示風景, 1997 Photo: 早川一  
13 受動性-シダ, 2005

12 わた死をのそく, 2010  
15 睡眠と覚醒-ナルト, 1998 Photo: 東泰秀

### 【関連プログラム】

#### アーティストトーク

日 時 | 11月3日(金・祝)15:00-16:00(開場30分前)  
会 場 | 現代美術ギャラリーワークショップ室  
定 員 | 40名 ※予約不要。先着順。  
参 加 費 | 無料 ※1

#### ダンス&ライブパフォーマンス「場と動きと音のコラボレーション」

出 演 | 角正之(動態ダンス)、sara[.esドットエス](即興音楽ユニット)  
日 時 | 11月3日(金・祝)13:30-14:30  
会 場 | 現代美術ギャラリー  
参 加 費 | 無料 ※1

#### ワークショップ「キノコを作ってみよう」

日 時 | 12月17日(日)10:30-12:30/14:00-16:00  
会 場 | 現代美術ギャラリー  
対 象 | 小学生-大人(小学生1-2年生のご参加には保護者の付き添いをお願いします)  
募集人数 | 各回15名(要事前申込)  
参 加 費 | 500円 ※1

#### 視覚に障害のある人との鑑賞ツアー「session!」

日 時 | 12月3日(日)10:00-12:00/14:30-16:30  
会 場 | 現代美術ギャラリー  
参 加 費 | 1,500円(要事前申込) ※2

#### 赤ちゃんと一緒に美術館散歩

日 時 | 11月12日(日)、11月15日(水) 各日10:30-12:00  
会 場 | 現代美術ギャラリー  
対 象 | 未就学児とその保護者  
参 加 費 | 保護者のみ1,500円(要事前申込) ※2

#### ウィークエンド・ギャラリートーク

日 時 | 11月18日(土)より毎週土曜日 各日14:30-40分程度  
会 場 | 現代美術ギャラリー  
参 加 費 | 無料 ※1

※1ただし、展覧会入場券が必要です。※2展覧会入場料を含みます。詳細は当館Webサイトをご覧ください。

### 【同時開催】

#### 日比野克彦「明後日朝顔プロジェクト2023水戸」収穫祭

日 時 | 11月11日(土)10:00-17:00(小雨決行。荒天時翌日順延)  
会 場 | 広場回廊2階  
料 金 | 無料  
主 催 | 明後日朝顔プロジェクト水戸実行委員会  
公益財団法人水戸市芸術振興財団  
株式会社水戸京成百貨店、水戸市民会館  
協 力 | 水戸21の会、茨城県立大子清流高等学校  
サントリーホールディングス株式会社

### 【ごいっしょに】

#### 国吉康雄展~安眠を妨げる夢~

福武コレクション・岡山県立美術館のコレクションを中心に  
2023年10月24日(火)-12月24日(日)  
茨城県近代美術館 Tel.029-243-5111

### 【お問合せ】

水戸芸術館現代美術センター  
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8 Tel.029-227-8120  
<https://www.arttowermito.or.jp/>

### 【交通のご案内】

●JR 東京駅(品川、上野発もあり)から常磐線特急で約72分-84分、水戸駅下車。北口バスターミナル4-7番のりばから「泉町1丁目」下車。徒歩2分。  
●高速バス 東京駅八重洲南口バスターミナルのりばから高速バス「みと号」水戸駅行き(赤塚又は茨城ルート)で約100分、「泉町1丁目」下車。徒歩2分。  
●お車 常磐自動車道水戸ICから国道50号線を水戸市街地方面へ約20分。  
◎市営五軒町駐車場があります。駐車場 | 地下駐車場(217台)7:00-23:00、立体駐車場(283台)24時間。料金 | 30分まで無料、1時間まで200円、以降30分ごとに100円、1日上限700円。

